Hello Everyone

国際交流員（CIR）の迷言コーナー
ハローエブリワン

うん、なんでしょう

カースティン・マクガリティ

みなさん、こんにちは！カースティンです。本当に残念ですが、７月下旬でここ（雲南市）での仕事を終えます。今回は最後のあいさつとなります。ここで過ごした日は、非常にいい経験となりました。一年前にイベントを計画したり、日本語で発表したり、英語を教えたりすることは怖かったですが、今では平気です。仕事を通じて“自分自身”そして“自分の能力”について分かるようになりました。

色々な趣味も持つようになりました。例えば書道、生け花、茶道、陶芸、太鼓等を何回も経験しました。色々なことが理解できてくると、もっともっと日本が好きになりました。日本の都市部では、それらの伝統的な習慣を経験するのはなかなか難しく、きっと都市部で過ごした外国人は、本当の日本は知らないと思います。（とてもラッキーでした！！）

ここは、私にとって異国の地でしたが、優しくしてくれる人が多く、温もりが感じられました。知っている人だけではなく、多くの知らない人も、元気な声で「こんにちは！」と言ってくれました。そのやさしい一言が、どれだけ私の気分に影響を与え、元気にしてくれたことでしょうか。

この場をおかりして、次のみなさんに特に感謝したいと思います。木次料理教室、三刀屋書道クラブ、加茂生け花クラブ、雲南日本語広場「さくら」、加茂英会話教室、木次と大東の小学校のみんなスペシャルサンクス！（ありがとう！）。

また雲南市に来ます。みなさん、また会いましょう！お元気で！

わが家のホープ

8月で満1歳おめでとう

須山伸樹さん・朋子さんのお子さん
優楠（ゆうな）ちゃん（三刀屋町多久和）
平成17年８月16日生まれ
いつも笑顔の可愛いゆうな☆すくすく元気に育ってね（´0`）♪

松田修吾さん・朋世さんのお子さん
天臣（たかおみ）くん（木次町寺領）
平成17年８月13日生まれ
お姉ちゃんと仲良く、自分なりのペースでたくましく成長していってね！

和田　仁さん・淳子さんのお子さん
晃（ひかる）くん（掛合町掛合）
平成17年８月10日生まれ
わが家のホープひかる君、毎日いっぱい食べて、大きくなぁれ♪

狩野勝弘さん・真弓さんのお子さん
悠斗（ゆうと）くん（大東町金成）
平成17年８月31日生まれ
生まれてきてくれて♥
元気に育ってくれて♥
ありがとう!!

炭谷將史さん・知子さんのお子さん
倫太郎（りんたろう）くん（三刀屋町三刀屋）
平成17年８月21日生まれ
元気いっぱいな暴れん坊！！もう少し長～く昼寝してね（^-^）

9月で満1歳（平成17年9月生まれ）**になるお子さんを募集！**

写真にコメント（40字程度）を添え、郵送またはメールで8月8日（火）までに情報政策課へお願いします。

【問】情報政策課☎0854-40-1015
E-Mail:jyouhousesaku@city.unnan.shimane.jp

ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまち

学社連携・融合による教育活動の推進

コーディネーター通信　第2号

三刀屋中学校駐在　石田　誠

母校である三刀屋中学校に駐在するようになり、3か月が経過しました。3か月という短い期間ですので、私にはまだ学校教育全体を取り巻く問題・課題について、今ここで皆様に十分お伝えすることはできません。そこで、私はこの期間に感じた学校現場の様子をお伝えしたいと思います。

私が中学校という学校現場に入ってまず初めに感じたことは、先生方は大変忙しいということでした。授業を行うのは勿論ですが、授業のない時間には授業の準備作業や校務分掌で負っている自分の仕事を行い、放課後は生徒のために懸命に部活動の指導を行い、部活動が終了すれば今日終わらなかった自分の仕事を行うという様に、机に座ってのんびりと、ということは全くありません。（以前、次々と先生方に調査物やお願い事をしていた自分を反省いたします…）

次に、生徒と先生はとても良好な関係であるということです。私が中学生の頃は、職員室に入るのは何か特別な用事があるときのみで、それ以外のときはなるべく敬遠していたものですが、今の生徒は何のためらいもなく入ってきて先生と話をします。もちろん職員室に入るときにはかばんを室外に置き「失礼します」、出るときには「失礼しました」と言うなどの最低限のマナーはきちんと守っています。あとは先生も生徒も笑顔で会話をし、（指導の場合は別ですが）常に意思疎通がはかられています。まさに『開かれた職員室』という感じがします。

次に、生徒たちの挨拶がとても素晴らしいということです。中学校に駐在する以前、時々中学校を訪れたときにも感じていたことでしたが、生徒の前を通りかかると、どの生徒も深々と頭を下げとても元気な声で挨拶をします。上級生が率先して挨拶をしますので、必然的に下級生にも引き継がれてゆき、どの生徒にも挨拶をする習慣が身についています。

最後に、これは学校に駐在するようになって最も驚いたことであり、また感動したことですが、校歌を歌う生徒の声量がとても大きいということです。私はこれほどまでに大声で校歌を歌う学校とは思っていませんでした。それ故、初めて聞いたときはその迫力にとてつもない感動を覚えました。機会があれば是非いろいろな方に見ていただきたいと思います。

以上、私が三刀屋中学校で感じたことです。他の中学校に駐在しているコーディネーターはまた別の感想を持っていると思いますが、共通して言えることは、現場に入らなければ決して知り得ることができなかった部分がたくさんあるということです。ご存知のとおり、教育支援コーディネーター制度については当初から数々の意見がありました。

しかし、実際に自分が現場に入って得た経験は、自分がいずれもとの勤務に戻ったとき、自分の糧として大きくプラスになるのではないかと感じています。とは言ってもまだ始まったばかり。これからまだ幾多の難関があると思いますが、学校にとっても、地域にとっても、行政にとっても、この教育支援コーディネーター制度があってよかったと思われるように、日々精進していきたいと思います。

（次号は吉田中学校駐在の伊藤慶が担当します。）

「きょろパス」スタート

【問】教育委員会学校教育課
☎0854-40-1072

教育委員会では、子どもたちが市内の様々な施設等に出かけ、雲南市を知るなどの学習をしたり、体を動かしたりする活動を応援するため、夏休み期間に限定し、市民バスを無料で利用できる「ふるさと雲南キョロキョロ探検パスポート（通称『きょろパス』）」を発行します。

これは、昨年度実施した児童生徒生活実態調査の結果において、休日に8時間以上テレビを見たり、ゲームをする子どもが、中学生で20・3％、小学生で11・9％となっている現状から、子どもの健全な活動を促すことを目的としています。

パスポートは、安全面を配慮し、対象を小学校5・6年生と中学生の希望者に限定して交付します。利用期間は夏休み期間中ですので、各家庭において責任をもち、家族で相談しながら計画を立てて利用して下さい。